

平成二十三年度 京都市公立高等学校入学者選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1〜4ページにあります。
- 3 答案用紙には、受付番号を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 解答は、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意して、答案用紙に答えを記入しなさい。
- 5 答えとして記号を選ぶものは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 6 答えとして記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 7 答案用紙の採点欄には記入してはいけません。
- 8 答えの書き方について、次の例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 次の説明のうち、正しいものはどれか、(ア)〜(エ)から一つ選べ。……………答の番号【2】

- (ア) 北と反対の方角は西である。
 - (イ) 南と反対の方角は東である。
 - (ウ) 東と反対の方角は西である。
 - (エ) 西と反対の方角は南である。
- (2) 次の数のうち、奇数はどれか、(ア)〜(オ)から三つ選べ。……………答の番号【3】

- (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
- (エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)	水	【1】	【1】	曜日	【1】
【3】	【2】	アイウエ	【2】	【2】	○ウ	【2】
		アイウエオ	【3】	【3】	○ウ	【3】

検査	
1	
受付番号	
123456	
得点	

「字数制限がある場合は、句読点も一字に数える。」

一次の文章は、「可笑記」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)に答えよ。(12点)

人の口は、一切善悪の出で入りする門戸なり。かるがゆゑによき番衆をすゑおきて、出入りするものどもをあらためらるべし。其のいはれは、いふまじき人のうはさをあざけり、表裏などをいひて身命をあやまつ。是れは口のうちより、外へ出づるいたづらものどもなり。又くふまじき物をくひ、のむまじき物をのみ過して、病を生じ身命をあやまつ、是れは口の外よりうちへ入るいたづらものどもなり。又金言妙句をいひ、詩歌文章のおもしろきを作りなどは、口のうちより外へ出づるよきものどもなり。又もろもろの病にくるしむ時、それぞれの薬をのみて平癒し、あるひはきかつにおよんで、水のみ食をくらひ本復するなどは、外より口のうちへ入るよきものどもなり。かの番衆と申すは、おのれおのが心に御座候間、よくよくこの善悪をわきまへ分別して、善をば出入り自由自在に悪をば、出入りかたたくきんぜいすべし。少しも此の番衆ゆだんしては、大事出来すべし。

(「近代日本文学大系」による)

注 ① かるがゆゑに ② 番衆 ③ いはれ ④ 表裏 ⑤ 身命 ⑥ 金言妙句 ⑦ きかつ ⑧ 御座候間 ⑨ きんぜい

- (1) 本文中の人の口は、一切善悪の出で入りする門戸なりは、「口」を「門戸」にたとえた比喻表現である。このように、比喻表現が用いられているものとして最も適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選べ。 答の番号【1】
(ア) 今は昔、竹取の翁といふものありけり
(イ) 雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし
(ウ) 沖には平家、舟をいちめん並べて見物す
(エ) 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり
(2) 本文中のすゑおきて、いひては歴史的仮名遣いで書かれている。これらすべて現代仮名遣いに直して、それぞれ平仮名で書け。 答の番号【2】
(3) 本文中の出入りするものどもをあらためらるべし、の解釈として最も適当なものを、下段の(ア)〜(エ)から一つ選べ。 答の番号【3】

(4) 次の会話は、本文をもとに行われた、花子さんと太郎さんの話し合いの一部である。これを読み、後の問い(1)〜(3)に答えよ。

花子さん 人の口を門やとびらに見立てるといふ発想はおもしろいね。
太郎さん 確かにいろいろなのが口を出入りするからね。口の「番衆」として、「A」が果たす役割は重要だよ。
花子さん そう。この「番衆」の役割は、少しの「ゆだん」もなく「B」をすることだね。
太郎さん うん。ことわざの「口はわざわいの門」というのは、「番衆」が「C」を通してしまふことを戒めたものだろう。
花子さん でも、口に出したことが「わざわい」をもたらすばかりではないよ。この前の体育大会の「大縄跳び」を思い出してみて。
太郎さん あのとときはみんなが大声で応援してくれて、どんどん記録がよくなっていったね。跳んでいて楽しかったよ。
花子さん 跳ぶ回数が増えるにつれて、私も大きな声を出して応援していたよ。あの声援は、まさしく「D」だったと思うな。

(1) A・Bに入る最も適当な語を、本文中からAは漢字一字で、Bは漢字二字で、それぞれ抜き出して書け。 答の番号【4】

(2) 本文中の二重傍線部()のうちのC・Dに入る最も適当なものを、それぞれ次の(ア)〜(エ)から一つずつ選べ。 答の番号【5】

- (ア) □のうちより、外へ出づるいたづらものども
(イ) □の外よりうちへ入るいたづらものども
(ウ) □のうちより外へ出づるよきものども
(エ) 外より□のうちへ入るよきものども

(5) 本文に述べられていることとして最も適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選べ。 答の番号【6】

- (ア) □にするものの善悪をよく判断して、その出入りを厳しく取り締まるべきだということ。
(イ) □には善だけを選んで入れることと悪だけを選んで出すことの二つの役割があるということ。
(ウ) □にするものには善悪ともに含まれているので、適度な量の出入りにとどめておくべきだということ。
(エ) □はすべての善悪を生み出すものであるから、言葉や食べ物には気をつけなければならないということ。

【裏へつづく】

検査1 国語答案用紙

二													一					問題番号		
(13)		(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)	(4)		(3)		(2)	(1)
⊖	⊖													⊖	⊖					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号
I ア イ ウ エ	X □ □ }	ア イ ウ エ オ カ	ア イ ウ エ	□ □ }	ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	I ア イ ウ エ	発	ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	しい	ア イ ウ エ	C ア イ ウ エ	A □ □ □	ア イ ウ エ	b □ □ □ □	ア イ ウ エ	答
II カ キ ク ケ	Y ア イ ウ エ	エ オ カ	ウ エ	□ □ }	ウ エ	ウ エ	II カ キ ク ケ		ウ エ	ウ エ	ウ エ	ウ エ	ウ エ	□ □ □	D ア イ ウ エ	B □ □ □	ウ エ	d □ □ □	ウ エ	欄
III サ シ ス セ	ア イ ウ エ	カ	エ	□ □ }	エ	エ	ケ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	採点欄
得点	【20】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採点欄

検 査	
1	
受付番号	
得 点	

検査1 国語 正答表

二													一					問題番号		
(13)		(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)	(4)		(3)		(2)	(1)
㊦	㊧													㊦	㊧					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の 答
I ㊦	X 季節 の 配列	㊦			㊦		I ㊦	発 揮			I ㊦		い ち じ る し い	㊦	C ㊦	A 心		b す え お き て		答 の 欄
II ㊦	Y			失 わ る 思 い			II ㊦		㊦		II ㊦	㊦			D ㊦	B 分 別	㊦	d い い て		
III ㊦	㊦	㊦	㊦			㊦	㊦			㊦	㊦									㊦
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄
完全 II III 解答 は											完全 解答									
(各1) 2	(各1) 2	(各1) 2	2	2	2	2	(各1) 2	2	2	2	2	2	2	2	(各1) 2	(各1) 2	2	(各1) 2	2	配点